

令和7年度 第2回 伊賀市多文化共生推進プラン委員会 議事概要

日 時：令和7年10月28日(火) 午前10時00分～12時00分

場 所：伊賀市役所本庁4階 庁議室

出席者：オチャンテ委員、西岡委員、井上委員、里中委員、田中委員、上出委員、福岡委員、吹上委員、八幡委員、信田委員、桃地委員

内 容：

1. あいさつ

○会議資料の確認

2. 伊賀市多文化共生推進プラン（第2期）策定に係る諮問について

3. 議事【資料No.1】【資料No.2】【資料No.3】

○資料No.1の説明（事務局）

委員長 ありがとうございます。第2期策定プランの策定方針について、ご説明いただきました。これについて質問やご意見ありましたらお願いします。

委員長 委託業務されてる会社は次回から参加してくれるというような形になりますか。

事務局 そうですね。次回の委員会から参加します。資料の作成をしていただいて出席もしていただく予定です。

委員長 ありがとうございます。

○資料No.2の説明（事務局）

委員長 ありがとうございます。事務局からアンケート調査についての概要と、外国人住民アンケートの説明がありました。まずはここまでで、質問やご意見などありましたらお願いします。

委 員 まず、アンケートの調査期間なんですけれども、12月中旬から1月中旬ということなんですけれども、もしこの時期でアンケート調査となるようでしたら、日本語の会が協力することができないんです。ちょうど12月の頭から2月いっぱいには休みになります。寒いので、学習者が来ないので、いつもお休みをされていて休み期間になりますので、協力をすることができません。それと、外国人住民アンケートのところで、どうかなあと思ったのは、今回新たに設定していただいた居住地区なんですけれども。昔から住んでる人はわかると思うんですけれども、多分日本人も同じだと思いますが、伊賀市になってから伊賀市に

引っ越してきた人って全部伊賀市じゃないですか。そこに阿山がついているわけでもないし、島ヶ原がついていないから、「わからない」があるから「わからない」を選択するとは思うんですけど。ただ、心配は伊賀市やから「伊賀」に○をつけないかなど。昔からの人は、昔何町やったかなどか、何地区やからとか、八幡さん、信田さんは昔からいるからわかるよね。

委員 伊賀町ですかね。

委員 そうそう。

委員 でも、大山田か伊賀町かどっちかわからない。いつもどこ？って言われて。伊賀町って私知らなかったんですよ。大山田か大山田ではないか。なんか中途半端な感じなんですよ。

委員 これ、日本人でもわからないと思うので、地域によってっていうのは調べるのには必要なんですけれども、わからないとか誤回答が多いんじゃないかなど。それを心配しました。以上です。

委員長 はい、ありがとうございます。おっしゃる通りですね、私は阿山ですけど今は住所に阿山がないから、昔からいるから阿山地区にいるっていうのはわかりますけど、これがもしかすると伊賀市が伊賀になる。

委員 上野も難しいですよ。上野地区。

委員長 もう少し考えていかないとと思います。

事務局 ありがとうございます。こちらでも思っただけです。居住地区を入れた方がいいかどうかというところもあるんですけど、入れて確認したほうがいいということであれば、伊賀市の後の住所を書いてもらうのか、もうなくていいのか。

委員 郵便番号は？よくアンケートで郵便番号書いてくださいってあるから、これ書いたら住所ばれるやんって思いながら。

事務局 細かく分かっちゃうっていう部分もあるなあと思いながら悩んだところではあるんです。地区による傾向などを見れたら今後も何か使えるかなとは思っただけですが、おっしゃっていただいたように地区を選択するのは難しいなと思っています。

委員長 そうですね。住所を書いていくっていう形だと、私は〇〇しかないかなと思っただけですが、そういう形で自分で書いていくような形の方がいいんですかね。

事務局 住所を書くのは嫌かなど。かなり絞られるっていうのはあるなあ。ただ、そういったアンケートがどこかであったので、そういうやり方してるのかと思っただけです。

委員長 この形でやってみて、意味がなかったと思ったらなんとかして。どうですかね。他にこれに関してご意見がこの質問で気になるところとか、もう少しこっちの方がわかりやすいとか、なにかありましたら。

委員 質問項目の 21 番の「今後、日常生活で日本人とどのような交流・活動をした
いですか」これ、他の質問が複数選択になっているのですが、この活動を行う
1 番から 6 番まで、つきあいの濃さをとということであれば一択っていうのはわ
かるんですけど、それぞれに同じくらいのものもあるので、複数選択にしても
らえると、今後どのような交流があるのかそれぞれに見ることができると思う
んですけど、一択にする理由があるのであれば教えてください。もし、複数選択
が可能であればいろいろなところに可能性があるのか興味があるところなん
ですが、教えていただけますか。

委員長 ありがとうございます。事務局いかがでしょうか。

事務局 ありがとうございます。そうですね。こちら「1つを選んでください」とい
うことだったんですけども、特に1つでないってということはないですので、複
数選択にさせていただこうと思います。

委員長 ありがとうございます。1つにする必要ないんですよね。他、いかがでしょ
うか。

委員 選択を見させていただいて、自治会や地域っていう表現があったり、別でも町
内会っていうのがあって、いろんな言い方があって、外国籍の人大変になるか
もしれないんですけど、なるべく簡単なものにそろえていいかなと。それだけ
です。

委員長 ありがとうございます。たしかにこれはわかりにくいところもあると思いま
すので、事務局お願いします。

事務局 はい、ありがとうございます。おっしゃっていただいたようないろんな言
い方がありますので、整理をして、修正をさせていただきます。

委員長 ありがとうございます。他、いかがでしょうか。

問 27 の「伊賀市に住んで良かったと感じていますか」の次の問 28 にその回答
を選んだ理由を教えてくださいっていうのはあるんですけど。どのような形で
したら、住みやすくなるのかなって、聞いた方がいいのかなと思いました。ど
んなことで住みやすさを感じるのかなって気になったんですね。入れるかどう
か検討しなきゃいけないんですけど、逆に希望があるのか、こういうことがあ
ったら住みやすくなるんじゃないとか、市民の意見を聞くのも 1 つなのかも
もしれないなと感じました。結構、ここはいつも高い、住みやすく感じてるっ
ていう、今までの傾向は。意見を聞くのもよかったかもしれないと思うんですけ
ど。意見になります。

事務局 ありがとうございます。そうですね。それぞれの意見はあまり聞いていなか
ったので、今回は第 2 期のプラン策定のためのアンケートですので、詳しく聞か
せていただいたらいいかなと思います。ありがとうございます。

委員 今のに関連して、問 27 に住んで良かったと感じていますかっていうので、問
28 では回答を選んだ理由を書いてくださいって書いてあるので、これを分けた
方が。例えば 1 から、3 をどちらに入れるかが微妙ですけど、どちらでもない

っていうのを、良いと感じた人はどういう理由ですか、とか。どちらでもない、良くないと感じたのはどういう理由ですかっていうふうな分け方にすればいいのかなと思いました。選んだ理由って書いてあるからここを良い意見だけを書くイメージになってしまうので、1番を選んだ人はどうしてですか、3から5を書いた人はよくない理由は何ですかとかそういうふうに、良い理由は何ですか、良くない理由はなんですか。というふうに入れていくと書きやすいかなと思いました。

委員長 ありがとうございます。いかがでしょうか。

事務局 ありがとうございます。この回答を選んだ理由っていうところがわかりにくい。それで、こちらが求める理由が出てくるかというところだと思うので、おっしゃっていただいたように考えたいと思います。ありがとうございます。

委員長 ありがとうございます。他、いかがでしょうか。

委員 思いついたところだけ、言わせてもらいます。最初に皆さん、居住地区の話なんですけど、無作為の抽出ってなってるんですけど、例えば無作為なんだけどこの居住地、6地区から無作為で出せば、その地区の方がわかるんじゃないかと。そうなるともうこの質問がいらんじゃないかと思いました。それと他の委員もおっしゃってた、言葉を統一するとか分かりやすいほうがいいねというところは、「団体や施設を知っていますか」って言って、いろいろ「多文化共生課」「国際交流協会」「伊賀の伝丸」「伊賀日本語の会」「社会福祉協議会」多分、行ったことがあるかもしれないけど、そこかどうかわらんわっていう、答えとして精度上げるのであれば注釈みたいなここにあるこんな施設、団体ですよっていう注釈があれば「ここ行ったことあるな」みたいなチェックの漏れという精度が上がってくるんじゃないかと思いました。以上です。

委員長 貴重な意見、ありがとうございます。どういう形でアンケートを配布していくのかというのが、先ほどのご質問があったように、地区ごとに分けるという形なのか伊賀市全体でなのか。

事務局 無作為抽出をするんですけども、その中で、地域はわかると思うんです。ただ、回答された方がどこの地区っていうのはわからないっていうところはあります。

委員 私もそれは二次元コードが1つだったらどこから来たかわからないとかあると思うんですが、もしその送った方に6つの二次元コードをそれぞれに番号を付けるとか、質問用紙や回答用紙に印をわからないようにつけるとか、何かそういう工夫をすれば委員がおっしゃったことはできるのかなと思ったりもしました。ただその二次元コードを教え合って回答したりするともうごちゃごちゃになってしまったりとか、そういう可能性もあると思います。

委員長 貴重な意見ありがとうございます。事務局いかがでしょうか。

事務局 ありがとうございます。しようと思っているアンケートのweb回答が二次元コードから1つのホームページ上に飛んで行ってそこから言語を選んでいただ

いてっていう形になるので、回答された方を認識することができないシステムになってるんです。

委員長 そうですね。外国語を選んでいかないといけないので、まず、市のホームページに入ってから回答するという形になるんですね、直接するというわけではないですね。

委員 どうしても住所地を選択ということであれば、上野地区やったら、この中に住まいの方は上野地区ですとか、例えば郵便番号表みたいな、〇〇町、とかそういうのが並んでてついているのを選んで回答するとか。郵便番号が一番固いかな、自分のところに郵便で届くわけなので郵便番号が書いてあるかなと思いますので、ここの番号を書いてくださいというのがいいかなと思いました。

委員長 ハガキで届いた郵便番号を書くのはいいですね。

事務局 ありがとうございます。そうですね。地域、住所であるとか、郵便番号であるとか、方法を考え、地区自体が必要なのか考えたいと思います。先ほどの問 24 のところで、それぞれの施設・団体がどんなところかっていう説明も入れたいと思います。

委員長 ありがとうございます。長年利用してる私たちだったら多分すぐわかるけれど、来日間もない人には名前だけではわかりにくい。

委員 社協はわからない。社協の場所をわかってて、お金を貸してくれるところとわかってて、そこが社会福祉協議会っていうのはわからないですね。

委員長 はい、他はいかがでしょうか。

副委員長 これ見せてもらってて、1つ事業をする中で、その方が自治会に入ってるか入ってないかっていうのもすごく気になるんです。多分難しいと思いますけど、いろんな地区行くとほとんど入ってないんでっていうような話を聞かせていただくと、そこはどうしたもんかというふうに思っこのアンケートを見させていただいてたんです。難しいと思いますがどうかなっていうふうに感じます。

委員長 ありがとうございます。いかがでしょうか。参加してるか入っているかどうか、どこまで進んでるのかどうか。

事務局 ありがとうございます。そうですね。交流のところでも自治会、地域の活動とか質問を入れたりしてるんですけど、自治会に入ってるかどうかはこのアンケートで聞いたことはないかなと思います。地域との交流の質問か問1のところで聞き取るような形にするか、検討させていただきます。

委員長 ありがとうございます。問 21 の1つを選んでくださいっていうのは、複数選択に変わるということですね。もしかすると、地域の活動には参加しているということはわかるかもしれないけど、自治会に参加してるということは、詳しくここでは把握はできないのでそういう質問をするのはどうかというご意見でしたね。はい。その他いかがでしょうか。なければ次の日本人住民対象のアンケートについて事務局から説明をお願いします。

○資料No.2 の説明（事務局）

委員長 日本人住民対象のアンケート調査の説明でした。これについて、質問やご意見などありましたらお願いします。

委員 ミスプリを発見しました。問 13 の内容は問 17 へになってますけど、15 ですよ。それと同じような間違いですが、19 のところに 12 の回答を選んだと書いていますが、これ 18 ですよ。それとこの問 18、先ほどの外国人アンケートでも言ったことと同じような感じで、良い理由と悪い理由を分けて聞いた方がいいのかな。同じ質問でのときに良いと感じているのか、だいたい良かったと思っている理由と感じていない理由を分けて聞くのはいかがでしょう。それと、日本人のところには問 20 でご意見ご要望というのがありますけども、外国人住民のアンケートではないから、そこをあとで翻訳するのが大変かもわからないんですけど、入れた方がいいのかなと。今までも何件かフリーで意見を書いてくださった方がいるので、それも付け加えたらいいのではないかと思います。それと、日本人用のアンケートは、ルビはふらないですか。ルビをふった方がいいかなと。日本国籍だけれども、外国ルーツの方がいらっしゃるのと、日本人の方が誰もが漢字がちゃんと読めるかっていうところ。これをやさしい日本語にってなったら大変なので、逃げ口って言ったら変な言い方ですけど、漢字をルビでふってるだけで、少しは優しくなるのかなと思いますので、もし面倒でなければ、web だとふれないですか。

事務局 ふれます。

委員 では、ふっておいていただく方がより優しいのかなと思います。以上です。

委員長 ありがとうございます。まず、日本人対象の日本人住民に対してのアンケートと外国人に対してのアンケートを統一する。特に問 18 の住んで良かったところと悪いところっていうところ、問 20 の伊賀市の多文化共生施策に何か意見があるというようなことを聞くなら日本人住民と外国人住民両方に聞くということとルビをふる。中にはそういう方もいらっしゃるかもしれないので、いろんな方に優しく対応するのが、という意見でした。いかがでしょうか。

事務局 はい、ありがとうございます。この先ほど外国人住民対象のアンケートでいただいたご意見も、日本人住民対象のアンケートと同じように反映させていただいて、おっしゃっていただいた質問についても同じように合わせていきたいなと思います。ルビについておっしゃっていただきありがとうございます。つける方向でさせていただきます。

委員長 ありがとうございます。他、いかがでしょうか。

委員 すいません。ちょっと 1 つ質問をしたいんですけども前回にも検討されたということなんですけど、この年齢層が非常に広い年齢層のアンケートということで、18 歳から 80 歳以上という項目まであるんですけど、外国人住民対象のアンケートと日本人住民対象のアンケートなんですけど、大体の年齢層っていう

のは同じような割合の方にご質問をしていただくような形になるのでしょうか。大きなくくりとしては、人数としては同じってということなんですか。教えていただければと思います。

委員長 はい。事務局いかがでしょうか。無作為で配布するような形なんですけど、年齢とかっていうのをどうなるかという質問です。

事務局 そうですね。無作為抽出になってまして、年齢的にはおそらく全体の年齢分布等と同じような形で抽出という形になってくるかと思います。

委員長 大体は対象となるような同じような似た年齢の方に、割合的には
事務局 日本人の方が高齢の方も多かったですし、外国人住民の方の分布でいうと働く世代の方が多いので、そのあたりは多くなっていくかと。

委員長 ありがとうございます。どうしても年齢は違ってくるということですね。他、いかがでしょうか。気になったこととか。

副委員長 4ページの問18なんですけど、これ「多文化共生のまちづくり」に入ってるんです。これでいきますと、ただ単に日本人に伊賀市に住んでよかったと感じますかと言ったら、ただ単によかったかどうかという答えになってくると思うけど、この上には「多文化共生のまちづくりについて」って書いてあるので、これやったら18番は「伊賀市の暮らしについて」の方にいくべきなんじゃないかと思っています。

委員長 ご意見ありがとうございます。問18で伊賀市に住んでよかったと感じてますかという質問が、「多文化共生のまちづくり」についての欄に入っているということと、これはどちらかと言えば「伊賀市の暮らし」についてっていうところに入れた方がいいんじゃないかという意見になります。いかがでしょうか。

事務局 ありがとうございます。住んでよかった、この質問で言うと暮らしについての質問になってくるかなと。おっしゃっていただいたのを聞いていて、この質問は多文化共生についてのことを日本人住民に聞いた方がいいのかなと思ったんですけど、外国人住民にも同じ質問をしているので、このまま入れておくか、日本人住民が多文化共生についてどう思っているか、伊賀市の多文化共生についてっていうところを聞くことにするか、検討します。

委員長 ありがとうございます。そもそもこの質問は今まで住んでよかったか、統一するというような意味もあるかもしれない、同じ質問をするということがどうしても比較ができるように。

委員 すいません。問8なんですけど、あなたは、伊賀市に住む外国人の友人や同僚がいますかっていう。その質問に、例えば、あなたはそばに外国人の同僚とか知り合いとかにいたら友達になりたいですかって聞くとか、知り合いとかにいたら友達になりたいですかって聞くとか、そういう質問をアンケートで聞いた方がいいかなと思うんですけど。日本の方はあまり外国人の友達になりたくないとか、話したくないとかその可能性の方もいると思いますけど。どなたでも外国人と話したいとか友達になりたい可能性がないと思いますが、その質問

8の次はそのアンケートを入れたらどうかなと思いますけど、そういう声が聞きたい。それはわたし個人、どうかなと思います。

委員長 はい、ありがとうございます。問8のあなたは伊賀市の外国人の友人や同僚がいますか。もう少し聞くと友達が欲しいですか、友達になりたいですか。

委員 そうですね。もしそばに同じ会社にいるとかっていうことがあれば、友達になりたいですか、それとも話しかけたいですか、話したいですかとか。

委員長 日本人に知り合い、同僚がいるけれどその同僚ともう少し友達になってみたい。外国人だからあまり話しかけたくないとか、それとかもマイナスになってます。それで、少しもなりたくないんだったら、傾向があるんじゃないかといかがでしょうか。質問を1つ増やすっていうのは。これは日本人向けですよ。日本人には逆に外国人の同僚と関係を深めていきたいがどうかですよ。いかがでしょうか。

事務局 ありがとうございます。そうですね。今の現状プラス、友達になっていきたいかっていうところだと思います。検討させていただきます。ありがとうございます。

委員長 ありがとうございます。

委員 先ほど〇〇委員が言っていたところの問18のところなんですけど、日本人だとこれだと伊賀がいいか悪いかを外国人絡みで考えないと思いますので、注釈というか、外国人がたくさん住んでいる伊賀に住んでどうですかみたいな、多文化共生のまちづくりのところに入れておいていいかなとは思っているので、ここは外国人がいることがいいと思っているのか悪いと思っているのかを聞いているんだよっていうのがわかるような質問の仕方にしたらいいいのかなと思って。それを聞きたいわけですよ。だから、お米とお酒がおいしい伊賀ということを知ったわけじゃないので、そういうことを入れとけばいいかなと思います。

委員長 ありがとうございます。移動せずにこのままで、ただ、外国人が多い伊賀市でよかったと感じているかどうかっていう質問に直すという意見でした。事務局いかがでしょうか。

事務局 はい、ありがとうございます。そうですね、多文化共生のまちづくりについてというところでお聞きした方がいいかなとは思っているのでこの場所で質問の仕方を変えてっていうことで修正させていただきます。ありがとうございます。

委員長 ありがとうございます。

委員 質問の趣旨がどこにあるかなというふうに、それだけのことだと思う。

委員長 ありがとうございます。他、いかがでしょうか。このように気になったところ、もう少しこういう質問があればいいなというところとか。

委員 失礼します。問6のところ、子どものことで心配なことはありますかという質問があるんですが、5番については子育てしやすいかっていうところについては、自分が子育てしてなくても雰囲気でも回答されるのかなとは思ってます。

が、問6の場合には、子どもがいない方とかにその独身の方とか、単身の方とかいろいろいらっしゃると思うので、その場合は例えば子どもがいる、いないで子どもがいる人に対しての質問にしたらこれでいいのかなと思います。答えづらい方もいるのかなというふうに思っています。外国人の方のところも多分単身で来られてる実習生さんとか、お子さんがいらっしゃらないっていう方もいると思うので、質問の仕方を工夫したらいいのかなと思いました。

委員長 ありがとうございます。子育てしてない、子どもがいらっしゃらない家庭もありますね、単独で生きる方もいらっしゃいます。質問の仕方を見直した方がいいのではないかとのご意見でした。いかがでしょうか。

事務局 はい、ありがとうございます。おっしゃっていただいたように日本人住民と外国人住民で同じように質問の仕方を見直しさせていただきます。ありがとうございます。

委員長 ありがとうございます。他にいかがでしょうか。

委員 多文化共生のまちづくりについての中であつたらいいなと思ったところで、この多文化共生推進プラン、その指針を受けてやっているというところで、日本人の方にここ数年で多文化共生について変わったところはないですかという設問はどうかなと思って。選択肢で今までこういうことをやってきたよなというのを挙げて、書けば、それにマルがついていたら認知度が上がっている。マルがなければ足らんなどという。見えるところがあるんじゃないかな。17番で取組む必要があると思いませんかというはあるんですけど。これよりもそっちの方がリアルに生の意見というか、書いてくれそうな気がして。どんなことに取組む必要がありますかの質問は、あれもいいな、これもいいなとなるんやけど、ここ数年であれ変わったな、学校でもこんな変わったんだ、職場でもこんなに変わってる、町でもこんな変わったなっていうのが、設問にあつてマルってなつたら今までやってきたっていうところもマルやったからそのままいける。全然マルない、じゃあもつともつとやらなあかんっていうところに繋がるかなと思います。考えていただければと思います。以上です。

委員長 ありがとうございます。変わってきたかどうかというのを聞いて、分かった方がいいですね。取り組みも多文化共生が少しでも伊賀の住民の方には影響しているとわかると思うんで、そういうような項目を入れていた方がいいのかなと。いかがでしょうか。

事務局 ありがとうございます。そうですね。そのような質問によって現状把握できてよりわかりやすい結果が出てくるのかなと思いました。いろいろご意見ありがとうございます。

委員長 ありがとうございます。わたしがすごい気になっているのは、最近すごいネットとかでデマが広がっていつているんで、それを一般の方が特に信じ込んでいるか、三重県とか伊賀っていうより他の地域の方たちと思うんですけど、中でもそれが余りにもいろんなところで聞いた。外国人が日本人のお仕事を奪って

いるとか、いろんなデマがバーッと広がっているの、それを確かにそうだって感じているのであれば、気になるなと思うんです。どういう形で質問したらいいかわからないですけど。広がっているけど、それを通じて本当だと思っているかどうかとかが気になっているかどうかというか、そういうことも気になっているんですけど。

委員 ストレートな聞き方ですけど、外国人住民が増えることで不安に思っていることはありますかとかはどうですか。ストレートすぎますか。治安が悪くなるとか、自分たちの仕事が減るとか、ストレートすぎますかね。そんなことを思っている人がいるのかなと。アンケートで答えないでしょうかね。そんな思っても。

委員長 名前は書かないですよ。

委員 うんうん。と思ったんですが、ストレートすぎますか。

委員長 いかがでしょうか。

委員 例えば、日本に住む外国人には人権がないとか、そんなところにマルつける人がいたら「あーあ」っていう感じ。

委員長 いかがでしょうか。他、なにかみなさん。

委員 アンケートはね、工夫されて実りのあるものにするという、そのためにいろいろ意見言っていたら、それはその通りと思うんですけど。自治会でもアンケートを、例えばバスの運行とかね。最近インバウンドとかいろんなバスが入っているの、アンケートをとって見たらとかもあるんだけど、一方で先進地からそういう導入されたところは、アンケートと真逆は言い過ぎやけど、全然違うやんかと。もっとここで利用したいとか言うてたのに実際蓋を開けたら誰も乗らない。交通の関係の人になると、ご足労やっただけですけど、毎晩何時から小場っていうんかな。そういう塊のところで、意見交換会しました。それは結構リアルやったしというのがあるので、〇〇委員が言った調査、よくあるんです。さっきも言ってくれたけど、気持ち知りたいんやけど、上手な人は上手に隠しますわ。思ってもこっちでこんな顔するから、難しい。だから、どこかで多文化共生課さんに寄せられる。例えば、名前を名乗らないでも電話が来ると、それは差別的であつたり、逆にもっと進めたらどうやとか。そういう声を披露してもらうのも、現状つかむ上では、参考になるかなと思います。

委員長 貴重なご意見ありがとうございます。おっしゃる通りですよ。

事務局 少し項目を検討させていただきたいなというふうに思ってますので、またよろしくをお願いします。

委員長 はい、ありがとうございます。いろいろなご意見がでてるので、事務局よろしくをお願いします。

大丈夫でしょうか。それでは、最後の事業所・団体対象のアンケート調査について、事務局から説明をお願いします。

○資料No.2の説明（事務局）

委員長 ありがとうございます。それでは、事業所・団体対象のアンケートについて質問やご意見ありましたらお願いします。

今日、欠席された〇〇委員から、ご意見を1ついただきました。事業所・団体アンケートの3ページ、問17のどこで日本語教育を行っていますかというご質問があるんですけど、これに伴って、その後に問18として誰が日本語教育を行っていますかっていう質問を加えてほしいというようなご意見でした。例えば、1日本語教育の資格を持った日本語教師、2日本語教育の資格を持たない外部の人、3日本語教育の資格を持たない社内の人というような選択をこれを問18に入れていただければというご意見でした。事務局、いかがでしょう。

事務局 ありがとうございます。そうですね、これから企業でも日本語教育を実施していただいたり検討していただきたいところではありますので、現在していただいているところには、その日本語教師の資格を持ってない、外部の人とかこういったところもお聞きする中で現状をお聞きするのも1つかなと、思いました。ありがとうございます。

委員長 ありがとうございます。皆さん、いかがでしょうか。

委員 日本語学習に関してなんですけれども、問24でどのような支援を行っていくというのがあるんですけど、日本語学習のところで日本語学習へのサポートをしていますかっていうのは、どうかなと思ったんです。というのは、少し前に、県の方と一緒に城さんも一緒に行っていたんですけれども、企業のヒアリングに行ったときに、企業さんによっては日本語検定試験への費用負担をしているとかそういうのが出ていたのでそういうふうな日本語教室でカルタをしているとか、検定試験の費用負担をしているとかそういうふうなのが聞き出せたらなっていうのを入れたらと思ったんですけど、いかがでしょう。

委員長 ありがとうございます。事務局いかがでしょうか。

事務局 ありがとうございます。日本語教育のサポートっていう点を含めて、費用負担もあるかないか、どのような支援を行っているかっていうところも回答していただけるように問23、24をこの質問の仕方を修正しようかと思えます。ありがとうございます。

委員長 ありがとうございます。その他、いかがでしょうか。

アンケートは伊賀市にある事業・団体すべてに送るとのことですか。

事務局 伊賀市にある企業の100件に送ります。無作為抽出という形にはなるんですけど、一定、雇用をしているところの現状っていうのを聞きたいなとは思いますが、雇用していないと思われるところも含めてですけど、雇用しているところを多めに100件送ります。

委員長 無作為抽出と外国人がいるところとですね。

いかがでしょうか。他、大丈夫でしょうか。3つのアンケートを通しての件でも構いません。外国人住民でこれ言い残したとか、日本人対象のとか、改めて

3つを読んでこの質問があったほうがいいというようなことがありましたら、おっしゃっていただければ。

委員 前回のときに、いつ行ったか私記憶にはないんですが、地域とか、自治協とか、自治会対象のアンケートは今回はしないですか。前回のときは、このアンケートのあとやったかどこかで地域へのアンケートやったと思うんですが。

委員長 いかがでしょうか。地域の方とかにも聞くということは。

事務局 今回のアンケートは説明した3つの対象で考えてまして、地域、自治協へのアンケートは昨年度をさせていただいたんですけれども、今回はこの3つのアンケートのみで考えています。

委員 というのは、いろいろ地域を回って出てきたんですけれども、地域の人と私が人権講演に行くとか、地域でイベントに関わるとか、そういうので地域の人たちと話をしている中で、地域の日本人住民、自治会だったり、自治協だったりした人たちが一番、その地域の外国人と関わろうとしていないのを感じたんですよ。最初から、言葉が通じないとか、言ってもわからない、どう関わっていったらいいかわからないというので、地域での外国人との関わりが少ない。前からあの辺にいっぱい外国人が住んでいるんやけどっていう話が出る中で、「あそこはブラックボックスやから」なんて言った方がいらして、そういう認識なんやと思って。そこがもう触ってはいけないもののように地域の人にはなってるっていうのをすごくいろいろ話してる中で感じたんで。だから会社とかだといろいろな仕事をスムーズにいくためには、日本人と外国人がしっかり話し合っていくっていうのは必要だとわかりますけども、地域って知らんぷりしたら知らんぷりできるんですよ。考えたら、あそこの家の人たちに自治会入ってほしいから声掛けにかなあかんけれども、ひと手間じゃないですか。できない理由としてあの人たち言葉わからへんから無理やね、行けへんねんっていうことを行けない理由にして行かない。っていうことがすごく見えてきて、自分の地域も含めてなんですけれども。なので、これはあかんと思ったので、私一緒に行くから行こうって言って、私の町の外国人のところへ会長連れて行って、組長さん連れて行ってなんですけれども、そうしたら、地域のイベントに参加しますって、2件行って2件とも言うてくれたりとか、そのうちの1件は自治会入って言うてくれたりとかしたので、そのところがまだまだ足りないなあということがひしひしと感じて、今は外国人をいかに地域に引っ張ってくるかという作戦中です。どうなるかわかりませんが、また経過報告をさせていただきますけれども、私の町は私がいるから私が行くでって言って引っ張っては行けるけども、そうじゃないところはなかなかそれができてないので地域っていうのをこれからこういうのをいろいろやっていく中で重要なポイントになるのかな。そこで地域の人が怖ないやん、話できるやん、日本語通じるやんって思ってもらえたらいいのになあと思って、ちなみに2件行った2件とも私は通訳ではなくて日本語で話をしていたので、別に言葉が通じな

いわけではない人たちだった。私が行くからできることもあるけど、どこでもできるわけではないので、今回はこれでいいんですけどまだ地域にいろんなことを知らせていくっていうか、サポートしていくっていうのがこれからの多文化共生に重要ななと思ってます。

委員長 ありがとうございます。今回はしないけど、次回検討はしていく

委員 1年おきくらいでいいかわからへんけど

委員長 事務局いかがでしょうか。

事務局 今おっしゃっていただいたようにいろんな地域で、積極的に取り組んでいただいているところもございまして、なかなか関わり方がわからないところもいっぱいあると思います。そういった中で市、地域、企業さんも含めてみんなでこういった取り組みをさらにしていくということも推進プランの中にも含めた計画になっていったらいいなと思いますし、昨年度はいろんな地域を回らせていただきまして、そういった現状っていう部分もございまして、また今後そういう機会も必要になってくるかなと思います。ただ今回についてはこのようなアンケート調査で行いたいと思ってますので、どうぞよろしくお願いいたします。

委員長 ありがとうございます。それでは、委員からのご意見を踏まえ、事務局で検討してこれから準備していただければと思います。

委員 今、いろいろアンケートの意見がでたと思うんですけど、アンケートの修正した分っていうのは、また私たちに送っていただくことはできますか。

事務局 この修正したものは、委員長と最終的に協議をさせていただいてそのあとの結果につきましては、皆さんにお配りをさせていただきたいなというふうに思いますので、よろしくお願いいたします。

委員 会議の自分たちが言った意見が反映されて、疑うわけじゃないんですけど、反映されてるかどうかっていうのをチェックすることとかもしくは後で気づいたこととか、再度修正は可能でしょうか。もうこれで終わりですか。

委員長 事務局いかがでしょうか。

事務局 一度委員長とご相談させていただいて、さらに時間的なこともございまして、委員長とご相談させていただく中でそれを見てご意見が反映できるような時間的な状況でしたら検討させていただきます。

委員長 ありがとうございます。私も意識しながら見ていきます。その他、いかがでしょうか。時間の関係で進めていきたいと思います。皆様のご意見を踏まえてまた検討していきたいと思います。では、外国人住民ワークショップについて事務局から説明をお願いします。

○資料No.3の説明（事務局）

委員長 事務局の説明に対して質問やご意見などがありましたらお願いします。

委員 大体いつごろ考えておられるのかということと、例えば、私たちとか委員とか部外者って言ったら変な言い方やけど、それを聞きに行くこととかいうか、傍聴することは可能なのかということと、参加してくれる方への報酬はありなのか、なしなのか、全くのボランティアなのか、少しお礼がでますなのか。細かいことを聞いてごめんなさい。どうでしょうか、これから検討されるのか。

委員長 ○○委員から質問がありました。いつ頃なのか、私たち委員の皆さん、もちろん希望の方が傍聴という形で参加できるかどうか、そして何か報酬があるかどうか、お願いします。

事務局 ワークショップの時期についてですけれども、アンケートを発送したあとになりますので、おそらく年明けぐらいになってくるかと考えています。そのあたかも業者の方と詰め切れてない部分もあるんですけれども、年明け、1月、2月ぐらいでもまとめられるとは言ったので、そのあたりの実施になるかなと思います。このワークショップの参加についてですけれども、入っていただくことは可能にしたいなと思っています。加えて、委員の皆様の中でもファシリテーター的な形で入っていただけたらありがたいなと思っています。参加していただく方についてもですけど、伊賀の伝丸さんとか、日本語の会さんでも知り合いの方にワークショップの参加を促していただければありがたいなと考えています。また、こちらのワークショップに参加をしていただく方についてはボランティアという形で報酬無しで考えています。

委員長 はい、ありがとうございます。皆さん、協力できる方はファシリテーターという形とか、参加していただけるような方向に、また決まったら日程とかメールでお知らせいただけるかと思います。

委員 報酬無しということなんですけども、たとえば交通費とかどこに住んでるかにもよると思うんですけれども、市役所なのかハイトピアなのかゆめぼりセンターなのかですけれども、車で来る方が多いと思うんです。だから、交通費ぐらいお金がないのかわからないですけれども、変な言い方ですけど1,000円でも2,000円でももらえないとは大きな違いで別に「報酬あります」と書かなくっても「ボランティアです」って書いてあっても交通費だけですけどと渡すとちょっとうれしいよな。そんないっぱいお金が要るわけではないんですけど、自分の時間を使って、自分の意見を言いに来て、ガソリン代なり使うわけなので、少しだけでも何かあればいいかなと思います。よく、1,000円とか2,000円やったら失礼ちゃうのと考えがちですけれども、1,000円でも2,000円でもあったらありがたいというふうに思いますし、例えば、私がいろいろ外国人に何かをこうしたとき必ず彼らは「いくらお払いしようか」と必ず聞くんですよ。だから、人が何か動くってことはそれに対していくらかを払わないとだめだっというふうにみんな思う人が多いので、もらうときでももらわないときもどっちもありますけれども、いいよって言うときもありがたいよって言うときもいろいろありますけれども、でも何かお金があかんかったら

クオカードとかコンビニで使えるカード1枚とか、1,000円分とかあったらちょっと違うかなって思ったりしますね。よく日本人はお礼に菓子折りとかするけど、それよりもお金の方がいいよな。ストレートな話をして申し訳ないですけどと思います。何か欲しい。どこかからとってこれる予算があるなら、ここに参加させていただいてる分ほどじゃなくてもいいとは思うので、何かちょっと気持ちがあれば、うれしいよね。

委員 結構いろいろ経験があつて。私たち外国人の現実は今いろんなものが高くなつてるじゃないですか。だから、正直言うたらボランティアが本当に少なくなつた。〇〇さんの言ってくれたとおりにアピールでも。

委員 伊賀米もらつてもうれしいよな。

委員 なかなかボランティアの外国人たち全然少なくなつてて悲しい。

委員長 ありがとうございます。せめて交通費ね。ハイトピアで自分たちの駐車場代も払わないといけないんだけどね。そこも検討していただければ。

委員 決して来てくださる方が何かの費用負担がかかるっていうことがないようにお願いはしたいなと思います。彼らが何もないから来ないっていう意味ではないんです。ボランティアをしてくれる人はたくさんいますけれども、そこはボランティアだよって初め言つてもいいけれども、「ごめんね、交通費だけだけれど」って言うことで「じゃあ次も何か協力しようかな」という思いになりやすいので、いろいろやり方はあると思うので考えていただければ声かけるのも声かけやすいです。

委員長 いかがでしょうか。

事務局 はい、ありがとうございます。そうですね、予算の関係もあるんですけども検討させていただきます。

委員長 ありがとうございます。他にありますでしょうか。なければ、事務局お願いいたします。

事務局 貴重なご意見ありがとうございます。多くのご意見いただきましたので、ご意見を踏まえ、アンケート、その他についてはまた検討して実施したいと思います。修正等をですね、またまとめましたら、皆様にもご報告させていただき、委員長の承認をもって実施をさせていただきたいと考えています。よろしくお願ひいたします。

委員長 事務局から説明がありましたとおりに進めていくことにご異議ございませんか。ご異議がないようでしたら、事務局の方でアンケート調査、ワークショップを進めていただきたいと思います。他に何かありますでしょうか。無いようですので、続いて4その他に移ります。

4. その他

委員長 委員から何かございますか。事務局から何かありますか。

事務局 失礼いたします。今後の策定スケジュールを確認させていただきたいです。

資料1の4ページに書かせていただいているんですけども、本日検討をいただきましたアンケート調査を12月に考えています。外国人ワークショップを1月、2月にかけて始めさせていただき、その後、集計、現状の分析、基礎データの収集を行っていきたいと思います。その後、2月、3月に開催予定の委員会では、骨子案の確認をいただいた後、4月以降に2回程度の専門委員会を開催させていただきまして、基本方針及び基本施策をご検討いただきたいと思います。その後は中間案をまとめて、議会やパブリックコメントを踏まえて、プランを作成していただくという予定でございます。なお、草案、中間案、最終案をまとめる際にはこの委員会を開催させていただきますので、またよろしくお願いたします。本年度と来年度にかけての策定ですので、よろしくお願いたします。それと次回の委員会につきましては、令和8年3月上旬ごろと予定をしておりますので、またご連絡をさせていただきたいというふうに思います。よろしくお願いたします。以上です。

委員長 ありがとうございます。このことについて、ご質問等がありましたらご発言ください。なければ、本日の事項は以上となります。委員の皆様から全体をとおしてのことでも構いませんが、ご意見・ご質問等はございませんか。無いようでしたら、これで本日の議事は終了とさせていただきます。委員の皆様には、議事の円滑な進行に御協力いただきましてありがとうございました。それでは、事務局にお戻しします。

事務局 委員の皆様には、長時間にわたりいろいろな意見交換やご協議いただきありがとうございました。

これをもちまして、2025年度第2回伊賀市多文化共生推進プラン委員会を閉会とさせていただきます。どうも、ありがとうございました。

一同 ありがとうございました。